



議会だより

3月定例会号

平成29年4月28日発行

No.136

こうみ



町のお金はどのように使われます ②

3月議会 ー第1回定例会ー
こんなことが決まりました ④

一般質問 ⑦

常任委員会からの要望 ⑮

編集後記 ⑰

JR小海線 春の風景

きかせて あなたたちの夢
あなたたちの未来に寄り添うまちに

定住促進事業・小海小学校教育環境整備事業の 取り組みへ予算可決

平成29年度一般会計当初予算 36億8,000万円
前年度対比5.8%減

一般会計予算・特別会計予算 全員賛成で可決

■一般会計

会計名及び内訳	平成29年度 当初予算	構成割合 %	対前年度当初予算	
			増減額	増減率 %
一般会計総額	36億8,000万円		△2億2,500万円	△5.8
・議会費	6,758万円	1.8	△17万円	△0.2
・総務費	5億3,679万円	14.6	6,568万円	13.9
・民生費	8億3,097万円	22.6	9,119万円	12.3
・衛生費	3億5,953万円	9.8	△2億6,029万円	△42.0
・農林水産費	1億9,708万円	5.3	900万円	4.8
・商工費	3億7,440万円	10.2	6,952万円	22.8
・土木費	2億 904万円	5.7	△1億3,552万円	△39.3
・消防費	1億5,416万円	4.2	△862万円	△5.3
・教育費	4億3,631万円	11.9	401万円	0.9
・災害復旧費	400万円	0.1	0万円	0.0
・公債費	5億 514万円	13.7	△5,980万円	△10.6
・予備費	500万円	0.1	0万円	0.0

■特別会計

会計名及び内訳	平成29年度 当初予算	対前年度当初予算	
		増減額	増減率 %
国民健康保険	6億8,800万円	3,940万円	6.1
介護保険	6億5,830万円	1,500万円	2.3
後期高齢者医療	7,077万円	△33万円	△0.5
水道事業(収益的収入)	9,220万円	△190万円	△2.0

平成29年第1回定例会が3月2日から3月17日までの16日間の会期で開催されました。会期の初日、施政方針の中で町長より、平成29年度予算は任期最終年度となり、子育て支援、福祉、教育、産業振興など町民主体の「住んでみたい町、住み続けたい町、そして住んで良かったと思う町づくり」を目指し、若者の定住促進、観光交流人口の増加対策、身近な生活環境の整備を推進し、人口減少を緩やかにし、町の活力を維持していく旨が語られました。

町のお金はこのように使われます

29年度主な重点事業

総務費

●定住促進事業

1,652万円

子育て世代住宅建設費補助事業や空き家対策協議会を設立し、総合的な空き家対策を検討し推進するもの。

民生費

●タクシー利用助成事業

610万円

年間発行上限枚数を36枚から48枚とし、更に制度の充実を図るもの。

民生費

●特養美ノ輪荘移転改築補助金

1億1,500万円

JA長野会の特養美ノ輪荘の建設に対し、南佐久南部5ヶ町村で連携し、財政的支援を行うもの。

民生費

●子育て支援事業

1,303万円

出産祝い金、子育て応援クーポン支給事業、オムツ助成事業等子育て支援の充実を図るもの。

衛生費

●バス購入事業

3,152万円

中型バス1台、小型バス1台を購入し町営バスの安全運行を図るもの。

農林水産費

●農産物魅力発信事業

981万円

特産品の開発・販売促進を図るもの。

商工費

●公衆トイレ設置事業

2,000万円

小海駅前に公衆トイレを設置し、町民・観光客の利便向上を図るもの。

消防費

●機器等整備事業

1,489万円

各分団に無線機の整備、第1分団小型動力ポンプ付積載車、第2分団詰所ホース乾燥ポールの整備等を更新し消防機器等の充実を図るもの。

教育費

●小海小学校管理事業

4,500万円

老朽化した小海小学校施設の改修を3年計画で実施し、平成29年度は校舎内の照明LDE化、プールサイド修繕等、教育環境の改善を図るもの。

美術館運営費

●展覧会事業

1,532万円

開館20周年を迎え、新海誠監督デビュー15周年企画展等各種企画展を開催するもの。

主な歳入予算額

町税

町民税や固定資産税等の税金

5億 5,511万円

構成割合 (15.1%)

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

16億 1,000万円

構成割合 (43.8%)

国・県支出金

国・県が負担するお金

2億 5,632万円

構成割合 (7.0%)

町債 (町の借金)

主に建設事業に充てるために借り入れるお金

3億 5,850万円

構成割合 (9.7%)

こんなことが決まりました

28年度 一般会計補正予算（第6号）全員賛成で可決

1億9,863万円を追加補正 総額47億7,465万円

【歳出の主なもの】

●観光拠点施設整備事業	9,700万円
●佐久広域消防本部・南部消防署負担金	△1,069万円
●土木費（除雪関係費）	950万円
●土木費（融雪剤）	1,200万円

【財源の主なもの】

●地方交付税	960万円
●国庫支出金	4,070万円
●基金繰入金	6,044万円
●地方消費税交付金	1,872万円
●町債	8,480万円

28年度 特別会計補正予算 全員賛成で可決

国民健康保険事業特別会計	2,131万円増額補正	総額 7億 288万円
介護保険事業特別会計	642万円増額補正	総額 6億5,271万円
後期高齢者医療特別会計	98万円減額補正	7,012万円
農業集落排水特別会計	43万円増額補正	総額 6,389万円
水道事業会計	収益的収入85万円増額補正	収入総額9,645万円

条例案7件、当初予算案5件、補正予算案6件、人事案件2件、その他事件3件、請願1件、陳情2件、発議3件の合計29件で審議が行われ、全ての案件が可決・同意されました。

一般質問は、8名の議員により行われ、町の考えをただしました。



役目の終わる「からまつ林業センター」

3月議会 第1回定例会で

条例改正等

◆南佐久郡児童生徒就学相談委員会共同設置規約の一部変更
事務局を北相木村から佐久穂町に変更するものです。
全員賛成で可決

◆職員の勤務時間及び休暇に関する条例の一部改正
育児休業の対象となる子の定義に養子縁組を明記するものと、介護時間を新設するものです。
全員賛成で可決

◆職員の育児休業等に関する条例の一部改正
対象児童に特別養子縁組の監護期間中の子等を加えるものです。
全員賛成で可決

◆小海町公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例の一部改正
公募によらない指定管理者の選定について定めるものです。
全員賛成で可決

◆小海町税条例等の一部改正
消費税の引き上げ時期の変更に伴い、住宅ローン減税、軽自動車税について平成29年4月施行から平成31年10

月まで先送りするものです。

全員賛成で可決

◆小海町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
事業系廃棄物についてゴミ袋による処理手数料を平成29年4月から50円引上げるものです。
全員賛成で可決

◆小海町介護保険条例の一部改正
平成29年度の介護保険料を従前どおりとするもの及び保険料算定にあたり譲渡所得の特別控除を適用するよう改正するものです。
全員賛成で可決

◆キャリアフル小海事業レクリエーション施設指定管理者の指定
今後5年間、引き続き一般社団法人小海町開発公社を指定管理者と指定するものです。
全員賛成で可決

◆小海町からまつ林業センター指定管理者の指定
改築工事が予定されていることから、指定期間を1年間として、引き続き一般社団法人小海町開発公社を指定管理者と指定するものです。
全員賛成で可決

契約変更

◆建設工事請負契約変更
大田団地造成工事契約金額を734万4千円から719万1千円に変更するものです。
全員賛成で可決

人事

◆固定資産評価審査委員の選任同意について
次の2名が同意されました。
・松本 英一氏(本村) 再任
・小山 知範氏(土村) 再任

議員発議

◆小海高等学校の存続を求める意見書の提出について
全員賛成で採択し、長野県知事へ意見書を提出しました。



陳情

●「共謀罪」創設に反対する陳情書
陳情者 ピースアクション佐久
代表 望月 清泰

賛成多数で採択
関係大臣に意見書を提出しました。

●中部横断自動車道八千穂高原く長
坂間の早期整備に関する陳情につ
いて
陳情者 八ヶ岳地区野菜輸送協議会
会長 小池 和幸

賛成多数で採択
関係機関に意見書を提出しました。

請願

●ニ夕小池地区住宅地の日照不足解
消のための支障木の除伐に関する
請願について

賛成多数で採択



第1回定例会の審議中意見の分かれた議案等

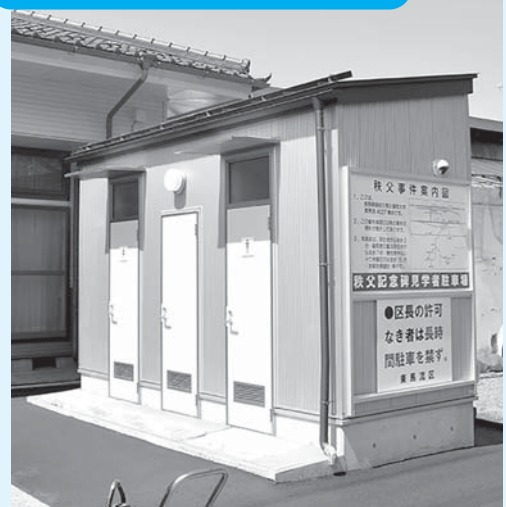
(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名) (議案名等)	有坂辰六	篠原伸男	篠原義従	篠原憲雄	新津孝徳	鷹野弥洲年	篠原恒一	的埜美香子	井出 薫	土橋勝一	佐藤二三雄	鷹野雄之助
「共謀罪」創設に反対する陳情書	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	議長職

ピックアップ

完成しました!!

東馬流公衆トイレ整備事業



完成した東馬流公衆トイレ

美術館の上映システム更新工事費



新しくなった美術館シアター

問 7時から早朝保育を 食品スーパーナナーズ前に横断歩道を

答 町長 子育て支援のできる体制を整える
住民の安全確保のため要望していく



鷹野 弥洲年議員

問 佐久市に通勤するには、7時30分からの早朝保育では勤務時間に間に合わないの、保育園に子供を7時から預かってもらいたいとの要望がある。小海町は子育て支援は整っている方だが、せっかく小海町で子育てをして頑張っているお父さんお母さん達に、佐久市に転居しようなどと思われないように7時から早朝保育を実施してはどうか。

町長 保護者の方と具体的な相談をしたい。保育士の確保に努め、子育てに少しでも支援できるような体制を整えて

鷹野議員 人口減少を防ぐために佐久市方面に通勤される方にも利便性の良い住宅確保を目的とし、本間の宅地造成も行っている。この事業を補完する意味でも保育園の7時から早朝保育を実施すべきだ。保育士の確保は難しいし大きな負担となるが前向きに捉え、いつから実施すると広報することが、小海町で頑張ろうとの安心感を与え計画性が持てる。町長の決断をお願いする。

ナナーズ前の

道路状況の改善を

問 町民から食品スーパーナナーズ前の道路改善を求める提案があった。町内唯一の食品スーパーであり身近な食料の調達先である。車を持ってない高齢者も町営バスで利用する。そこを利用する町民の安全確保のために町は積極的に環境整備に取り組むべきだ。出入り口の拡幅

は提案された方の要望により店側で改善をされ利用しやすくなった。

横断歩道の設置と歩道の整備について、町は提案された方の要望を受け、改善の要望書を警察署・建設事務所に出したが充分な対応に至っていない。歩行者の安全、町民の安全確保を第一義として、町がどのような改善したいのか、

どうしたら実現できるのか、主体性を持って継続的に取り組むべきだ。

町長 文書で警察署にお願いしてきたし、建設事務所にも要望している。県には財政事情の厳しさもあるので、町としても多くの要望に対して優先順位を判断しながら、安全確保のため、今後も粘り強くお願いしていく。



ナナーズ前の国道141号線

問 小学生給食費の保護者負担軽減について

答 町長 今後町にあった形を調査し、1年間かけてじっくりと検討したい



篠原 憲雄議員

問 小学生給食費の負担軽減について、公立小学校や中学校で無償化する自治体が全国で55市町村あり、このうち半数以上がこの8年間で無償化、更に2市町村が今年度より始める。大半が保護者負担軽減による子育て支援策として取り組むとしても、将来を見据えた政策として給食費の負担軽減をすべきだと思いますが、考えはどの様か。

町長 子育て支援という立場からあるいは学校給食の重要性から鑑みて、全国で給食費の無料化というものが最近新

聞報道等されています。先般の新聞報道では全国で完全な無償化が55市町村あり、全国で1741の自治体市町村があり、パーセントで3.2%です。児童数でいけば1%弱位だと思えます。そして何らかの軽減をしている市町村は396市町村あります。これは全体の22.7%です。この中に我が町も入っています。ご飯の運搬料、牛乳の運搬料、米飯の加工賃、今年始めましたふるさと給食ということで、それぞれの金額にすれば約170万円程度です。29年度予算に計上しているところ。学校給食法の

中で食材につきましてには保護者が負担することになっていきます。そういった中で新たにふるさと給食等を始めて、少しでも保護者の負担軽減をしたいと始めたところです。子育て支援というのは全体の中でいくべきものであると思っております。当分の間ですけれども次のステップに進むには制度化、どういった課題があるかを考えていきたいと思っております。少なくとも29年度から実施することとは難しいと考えています。

問 財政的に難しい面もあります。大体1000万円くらいになつてしまふと私はみていたのですが、地方創生交付金対応でこれからの子育て支援策として大きな課題だと思えますが、是非前向きな取り組みをお願い致します。

町長 約1000万円でございますが実施することになれば児童、そして先生、職員を含め全てを実施していくことが必要です。町村によっては3人目から無償であるとかいろいろ方法があります。それらをしつかり調査し、じっくりと検討してまいりたいと思っております。

その他衰退商店街活性化対策について質問をしました。



小海小学校ふるさと給食

問 小海原太陽光発電は安全か

答 町長 県の許可がおりた遊水池で雨水は安全管理します



土橋 勝一議員

問 小海高原太陽光発電事業が今年より工事にかかり2019年3月より発電を始めると聞いています。パネルが約3万枚、発電量が9、500kWとのことですが、工事区域が土石流警戒地区に入っているが、安全でしょうか。また現地は昭和47年7月に大きな災害も起きたが、災害時は補償してもらえますでしょうか。

町長 県の開発許可が下りています。当然大きな災害が発生した場合、町も地域も一緒になって対応に当ります。

問 工事区内に縄文時代、平安時代の遺跡があるはずですが、保護はどうするのか。

生涯学習課長 遺跡が発見された場合は、適切な保護処置を取っていきます。

問 八の軽井沢より塩の平上の相木川まで、休耕地・荒廃農地が続いているが、下流の水路管理、防災は安全か。

町長 遊水池で水の管理をしっかりと下流に問題が起きないで対応できるということ、許可が下りていると理解しています。

問 東馬流他で太陽光発電施設が多数見られます。自然保

護条例か、景観条例を作り規制を強化しては。

町長 景観上あるいは自然保護上、大きな支障をきたす場合、今後の課題として考えていきます。



東馬流地区太陽光発電風景

問 町長任期最後の予算の思いは

答 町長 種を蒔き、芽を出し、花を咲かせ、
そして町民が願う実を結ぶようしっかりと努めます



佐藤 二三雄議員

問 平成29年度予算は町長の目玉対策である集落再生支援事業と地域の絆を大切にす温かい町づくり、高齢者が住みやすい町、子育てするなら小海町、を指す思いを強く感じるところですが、特に町長がここに力を注いでいるとの決意のほどをお聞きます。

町長 平成29年度の予算は私の任期最後の予算であり、何事もすべて町民が主役、そして温かい町づくり、住んでみたいと思う町、住み続けたい町、そして小海町に住んでいて本当に良かったと思う町、

これを目指しその実現を予算化させていただきました。大田団地の分譲開始、南町町営住宅の入居者の募集、中部横断自動車道がいよいよ八千穂高原インター供用開始となりそれに併せて林業センターを取り壊し、西の玄関口として新たに観光交流拠点施設の建設、新海誠監督の企画展の開催、訪れる皆さんに素晴らしい自然と素晴らしい町をご覧いただく、二度、三度訪れていただけるよう観光交流の増に努めてまいります。そして私を先頭に職員の持つている力を十二分に発揮し、人口減

少を緩やかにし、将来に渡り町の活性化を維持するという目標達成に向けて、これまでの間種を蒔き、芽を出し、花を咲かせ、そして町民が願う実を結ぶようしっかりと努めてまいります。

佐藤議員 町制60周年という大きな節目を越え、定住促進、子育て支援、福祉の充実、商工・農林業等、経済振興、観光整備等、そして新たな事業に取り組み、細かいところまで気配りが感じられるメリハリの利いたバランスのとれた予算だと評価します。今後当選される議員の皆さんと共に力を併せ、町長、課長等をトップに役場職員として町民の期待にしっかりと応えていただきたい。また議会は行政の手先でもなければ敵でもありません。町の最高機関であることに自覚と自信を

持ち、自分自身の考え、信念のもと、他人の考えも尊重した上で多数の意見には従っていく謙虚さは各々持ち合わせています。行政側は提案権、執行権をもち、かたや議員は議決権を要する、ルールに則った選良であることは間違いないありません。町民のため輝ける町の活性化を目指して活躍されることを願っています。



完成した南町町営住宅

問 中部横断道開通!! どうする直売所、全面改築の林業センター

答 町長 新たなスタートの第一歩。町の大きな発展につなげたい



篠原 伸男 議員

問 直売所、全面改築の林業センターはどのような管理運営をするのですか。

町長 直営か指定管理と方法がありますが、直売所は直売所の会の皆様をお願いする考えです。

問 八峰の湯開設の際には新たに温泉専門幹を配置したが、この直売所も管理・運営を統括する責任者を配置すべきではないか。

町長 統括責任者を置くべきとのご意見ですが、直売所の

会の中にリーダーが生まれること、これが一番理想だと考えます。

問 直売所販売手数料50万円が計上されていますが、収支計算が不明です。当初は採算より将来に向けて計画的仕入、計画的販売するシステムの構築が必要で常に収支計算を念頭に置かなければならない。

小海活性化に

ビックチャンス到来

私が収支計算を申し上げるのは、平成29年度に中部横断道が八千穂高原まで開通します。

西の玄関として林業センターを1億円かけて改築、直売所は新装開店。このビックチャンスを実施経営にどのように生かして、町を活性化するか重要なことと考えるからです。

町長 八千穂高原インター開通、西に向かえば林業センター、国道に出れば小海方面へ交流人口が増えチャンス到来。林業センターは指定管理者で直売所は直売所の会と行政が一緒に活性化します。

問 最近経済活動する公の施設が増えていきます。行政は造れば良かったことから将来に向かってどのように展開させるかが肝要な時代になってきています。そのためには町・指定管理者・直売所の会との間で、その役割・分担を明確にしておくべきではないか。

町長 直売所は行政は行政としてタイアップ

しながら研究し、林業センターは1年じっくり時間をかけて検討していきます。

篠原議員 直売所は小海町の施設ですので直売所の会の皆さんの大きな負担にならないよう、また林業センターの指定管理は従来の慣習やしがらみに拘らずに町の活性化の理念の下で選定していただきたい。そして収支計算を念頭においた経営を要望します。



新装オープンした農産物加工直売所

問 「子育て世代住宅取得助成事業」で 町内活性化と定住促進を

答 町長 大田団地と併せて制度を利用し、若い人達に住宅を建築していただきたい



新津 孝徳議員

問 町の子育て世代住宅取得助成事業について、私が平成26年6月議会で提案いたしました。26年に3棟、27年度に9棟そして28年度は7棟と対変好評をいただいております。建築場所も稲子・ニ夕子池・土村・溝ノ原・本間等々町中に建設されまして大変活気が出ており、町内業者さんが請負ますとプラス20万円ということとで建築業の皆さんにも仕事があり、当然多くの下職をはじめ、資材を提供する会社等々大きな好影響を及ぼしています。「高齢化率」や「限界集落」という言葉が度々出

てくる現在、私は町内若者への投資はそう高くないと思っています。若い人達に町内に残っていただかなければ元も子も無くなってしまうがこの助成事業をどう捉えているでしょうか。

町長 まずまずの実績だと評価しています。本間の大田団地も分譲開始となるので、多くの皆さんにこの制度を使って住宅を建築していただくよう期待しています。他町村へ住宅を作ること抑制する効果につながり、大田団地に少しでも多く他町村の人に入っ

ていただくことを期待しています。

問 定住促進対策について町長は住んでみたい町、住み続けたい町、住んで良かったと思う町作りを目指しています。中部横断道の八千穂インターまでの供用開始に併せた大田団地の住宅分譲、林業センターを解体し小海町の西の玄関口に新たに小海町観光拠点施設を建設する。そして町を活性化し観光交流人口を増やし定住促進につなげると言っています。その心意気をお聞かせ下さい。

町長 大自然の素晴らしさを提供しながらレストラン・特産品の販売や観光案内をし、観光客を小海町へ誘う

拠点施設を目指して参ります。

新津議員 私も地理的にも分岐点であるが町の観光発展につなげる分岐点でもあると思います。小海町の明るい未来が見えるような観光拠点施設となるよう努力していただくことを強く望みます。



分譲開始の本間大田団地

問 補助金ありきの観光事業 町民の意見を十分に聞いたか

答 町長 多くの皆さんの意見を聞くことは大事
補助金をチャンスととらえるのも立派な方策



的埜 美香子議員

問 平成29年度予算で商工費前年度比22・8%増でPポイント事業や憩う町事業、信州DCキャンペーン、新海誠展等に加え、林業センターの改築、農産物加工直売所の新装オープン等、観光事業が目立つ予算となっている。これらの観光事業が町の中でどのような動きで発展し、町の活性化につながっていくのか。観光施設、宿泊業、飲食業等消費拡大のシミュレーションは、

地域を訪れていたただけるチャンスの時。ここで小海のイメージアップと満足を与えて、二度三度とお越しいただくようなことをしていきたい。小海駅前のトイレを整備したり、観光客のためにシャトルバスの運行、民間バスによるツアー、松原の町営駐車場の整備は中部横断道の発生土によって事業ができるチャンス。こういったことによって観光交流人口が増え、飲食店、ガソリンスタンド、小売店と広い範囲で消費が必ず拡大し、地域の活性化につながっていく。大きなチャンスの年というこ

とで思い切った予算を計上しました。

問 何か漠然とし、具体性やイメージが湧いてこない。駅周辺、松原湖周辺がどうなるのか。直売所を拠点とした動きはどうなるのか見えてこない。その場しのぎの補助金事業が目立ち、いつも町長が言う町民の意見を十分聞いて事業計画を進めてきたのか疑問を感じる。林業センターの改修事業も町民の中には「あんな所に1億円もかけて一体幾人客が入るのか、第一今そんなに客が入っているだろうか。」という声もあるが。

町長 できるだけ多くの皆さんの意見を聞くことは大事だが、全ての皆さんが賛成するということとはなかなか難しい。地方創生の中で補助金を認めていただき残りの50%は地方交付税でみていただける。

これをチャンスととらえるのも立派な方策であると思っています。それが無駄な投資にならないよう、町の活性化につながるよう、これから運営にしっかりと取り組んでいく。

的埜議員 補助金ありきでなく、長期的展望で主体性を發揮していただきたい。

その他、「学校給食の無料化の考えは」を質問しました。



信州ディステーションキャンペーンが行われる白駒の池

問 交通弱者対策、地域ごとの格差をなくして

答 町長 バスの運営審議会でいろいろな方向から検討させていただきます



井出 薫 議員

問 交通弱者対策、地区ごとの格差をなくして

町長 バスの運営審議会ですいろいろな方向から検討させていただきます。

交通弱者対策と

外出支援について

問 交通弱者対策の基本的な考え方を

町民課長 交通弱者、一般的には自動車中心の社会で移動を制限される人と理解されており、こういった方々の数を

減らそうというのが基本的な考え方・目標で施策を実施してきました。

地域によって土曜、日曜に町営バスを運行しないのはなぜか

町民課長 平成8年に運行を開始した。保育園児、児童、生徒の登園、登下校に配慮したものでした。人口減少が進む中、利用者の減少が問題になってきた。平成14・15

年小中学校・高校が、完全週休2日制になりました。平成24年タクシー利用助成事業が

開始されたこと等を踏まえ、松原湖線を除いて、土日祭日の運行を取りやめたという経過です。

土日はデマンド方式を

問 利用者の減少と福祉タクシー事業が理由と伺った。バス1便当りの利用者が0・46人と言われたが、かといって何もしないでよいのか。交通弱者全員が福祉タクシー事業を利用できない。町が土日に行なう健康祭りや加工所のお祭りに参加できない。健康祭りでバスの送迎をするといわれても、送り迎えをしてもらえる所までいけないのです。私の提案として、土日だけ希望を取って送迎をする、デマンド方式などを考える必要があると思うが。

町長 健康福祉祭りは路線を朝と夕方運行するのは可能だと思いますが、運営審議会を検討させていただきます。

福祉タクシー事業「役場や分院、診療所、駅や学校くらいは300円券1枚でいいんだよ」というような制度を

問 福祉タクシー事業、助かっているが地区によって負担が大変です。タクシー料金が高く券が片道2枚3枚必要になる。「役場や分院、診療所や学校くらいは300円券1枚でいいんだよ」というような制度をそろそろ考えていただき地域間の格差是正を。

町長 バス代の100円200円も含めて、色々な方向から検討を加えて結論を出したいと思えます。



予算決算常任委員会からの要望

●地域おこし協力隊事業は隊員と町民との交流、また、隊員同士との親睦交流によって隊員の定住に結びつくよう図りたい。

○町長

地域おこし協力隊につきましては平成29年度からは4名体制を予定しております。これまで3年間の成果と課題を検証し、より具体的な地域協力活動に取り組んで頂けるよう、受け入れ態勢を整えてまいります。また最長3年間の活動期間を経た後に定住に結び付くようにさらに努力してまいります。

●予算書・決算書の説明資料は明確な積算根拠、また支出根拠を示されたい。

○町長

予算決算説明資料につきましては昨年の第1回定例会においてご指摘を頂いたところでございます。事業の概要や積算根拠の明示など十分ではない事項については更に分りやすくなるよう明示し、工夫整備を進めてまいります。

●そば、くらかけ豆が町の特産品となるためには収穫量の確保が大切であり、生産者が減少しないよう保護対策を図られたい。

○町長

生産者の生産意欲を高めるには、単収が上がることや省力化によるコストカット、また販売価格の安定が重要であります。技術的な対策につきましては農業改良普及センターやJA営農センターの指導による技術指導をお願いすると共に、生産者会議での情報提供、情報交換により地域の実情に見合った栽培指針を確立してまいります。作付けなどにつきましては経営所得安定対策などの支援事業を確保した上で、コンバインの利用料の軽減など町としての支援について検討してまいります。

●小海町制60周年を契機に委任された親善大使にご協力頂き、小海町のPR等を図られたい。

○町長

昨年の10月2日開催の60周年記念式典の中で、3名の大使をご委嘱いたしました。3名の皆さんには公私にわたる場面場面で小海町のPRにご尽力頂いており、またふるさと寄付金についても勢力的に呼びかけをして頂き、その成果が具体的に表れております。今後折に触れお越しいただき助言を頂くと共に、広く内外に小海町の情報発信をして頂くよう期待し、また事あるごとにお願いをしてまいりますと思っております。

●教育支援員の設置に関して、①その目的、具体的な活動、②人数、③資格要件、④小学校との協議内容、⑤他町村の事例を直近の臨時会で報告されたい。また、その間の予算執行は慎重にされたい。

○町長

次の臨時会等で5項目につきまして理解を頂けるようご説明を申し上げます。それまでの予算執行は慎重に対応してまいります。



小海小学校入学式

●小海町からまつ林業センターを解体し、新たに小海町観光交流拠点施設を整備するに当たり、林業センターの果たしてきた成果等について評価をまとめ、新施設の運営等に活かされたい。

○町長

小海町からまつ林業センターの改築整備にあたりましては、この場所が八ヶ岳中信高原国定公園内にあり、佐久平方面の眺望が素晴らしい町の西の玄関口であります。新たな施設は観光振興、また交流人口の増、人の流れを小海町へ誘導する将来に向けてとても重要な施設の建築でございますので、これまで林業センターが果たしてきた役割と評価をまとめ、新たな施設の管理運営等に出来る限り活かしてまいります。

●指定管理者の指定の際に、再委託の制限について、協定書の条文中で明記されたい。

○町長

長野県の指定管理者制度のガイドラインによれば、「再委託について、指定管理者は管理運営の全部を第三者に委託してはならない。但し個別業務についてはあらかじめ県の承認を得た場合はこの限りでない」とされております。町でもこのガイドラインに沿って、指定管理者の指定にあたっては制限を明記して協定を締結してまいります。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は
6月開催予定です

議会ではどんな発言をしているのか、またどんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越し下さい。

車椅子をご利用の方は、議場内の専用スペースで傍聴することができます。



議会に関する事は町ホームページをご覧ください。定例会一般質問を音声により聞く事ができます。また、会議録もホームページへ掲載しておりますので、ご覧ください。

小海町議会

詳しくは、**議会事務局**電話 0267-92-2525 にお問い合わせください。

編集後記

第1回定例会が終わり、美ノ輪荘の新築、町の西側の玄関と言われている観光交流拠点施設改築も決定した。中部横断自動車道も29年度中に八千穂高原インターまで開通する。しかし八千穂―長坂間は仮に今年度すべてが解決（決定）しても完成するまでに15年以上かかると思われる。小海町は15年以上R141号一本に頼らざるを得ないと思われる。県道2号線の改良、農免道路の改良と早くしないと大変です。大雪事故等の時、小海町が陸の孤島となる引き金とならないようお願いいたします。この議会だよりが発行される時は新議員も決まっています。新議員12人の活躍を大いに期待します。編集委員長として2年間携わりました。ありがとうございました。

- (編集委員 土橋 勝一)
- 編集責任者 鷹野雄之助
 - 編集委員長 土橋 勝一
 - 編集委員 新津 孝徳
 - 編集委員 鷹野弥洲年
 - 編集委員 井出 薫